

観光立国の実現は地方(地域)から



アダム・ブラウンステイン氏



蘇 俊達氏



マイケル・ダイクス氏

インバウンドの増加や盛んに流れるテレビCMで、外資OTA(オンライン・トラベル・エージェント)の存在感がますます高まっている。グローバル展開するメカOTA3社、ブックング・ドットコム(本社||オランダ・阿姆斯特ダム)、エクスペディアグループ(本社||米国・ワシントン州ベルビュー)、シートリップ(本社||中国・上海市)の日本人のトップ3人に話を聞いた。(東京・ロイヤルパークホテルで)

17年の動向

2017年はどうだったか。ダイクス エクスぺディアとしては一層拡大した。二つ目は宿泊施設のお役に立っている技術が無償で公開した。三つ目は地域経済への貢献を促した。一つ目については、日本が将来的にインバウンドを4千万人、6千万人と増やしているという中で、結局は他国との競争になってくる。その中で私たちがローバルOTAの果たす役割は大きいと思える。エクスペディアの中で、日本は極めて優先度の高い市場で、実はアジア太平洋地域の中で伸び率は断トツの1位。世界レベルでも2位となっている。二つ目の技術提供については、5月30日から契約宿泊施設向けにRev+というプラットフォームという無償のレベニューマネジメント(収益管理ツールの提供)を始めた。エクスペディアが持っているビッグデータを活用し、他のホテル・旅館が出している価格を30日先まで確認することができる。エクスペディアが指標化した需要、自館の単価、周辺施設の単価がどのようになっているかを全て確認できる。

宿泊施設へ無償で技術を提案 3社体制確立し加速の1年に 蘇氏

ただ、エクスペディア、ブックング・ドットコムに比べて、日本での経験が浅い。加速が必要だ。17年1月にホテル・旅館の仕入れ販売会社「シートリップ・インターナショナル」(蘇俊達社長)を、6月に航空券の仕入れと販売を行う「シートリップ・エアチケット」(ピーター・吉原社長)を買収した。これらは、将来的に事業を拡大すれば法人化するかもしれない。具体的には、日本語サイトを運営するIIRJ事業部、グローバルシッピング事業部、グルメなどの事業部がある。

直接契約は6千軒を超えた。日本国内の宿泊予約は16年比で5割の伸び率だった。ブックング・ドットコムの17年はどうだったか。ブラウンスティン 17年はブックング・ドットコムよりも業界全体に比べて伸びが良かった。そのうえ日本は、いまや世界で人気の渡航先として当社にとっても重要なマーケットと認識されるようになった。18年はさらに勢いをつけていきたい。

6月の施行が決まったこと。インバウンド客に対してだけでなく、国内旅行客に対して新たな供給が創出されることも、需要喚起の効果も期待できる。もう一つは、インバウンド客の伸びが鈍化している感はあるものの、リピーターが増えている傾向がみられること。リピーターがグローバル以外の各地を訪れるようになってきている。先日、石垣島であるホテルの総支配人と話したが、中国・香港・台湾からの宿泊客数が急激に伸びていて、その伸びに伴って口コミなどを通じて地域の知名度がどんどん上がっていると話していた。今後、日本全国でこういった地域が増えてくるのではないかと思う。

18年の取り組み

ダイクス エクスぺディアもブックング・ドットコムと同様に日本国内ユーザーの利用が伸びている。16年対比で1.0倍増、つまり倍以上になっている。利用比率でいうとインバウンド60%、ドメスティック40%程度の水準になっている。ドメスティック比率はまだ上がり続けている。エクスペディア グループにはトリバゴというメタサーチサイト(旅行横断比較サイト)があり、日本市場向けに大量のテレビCMも流している。トリバゴ経由で、弊社やブックング・ドットコム、シートリップなどに国内ユーザーが流れる現象も起きている。日本のエクスペディアは、国内市場向け販売を行うエクスペディア・ジャパンと宿泊入れや全体統括を行うエクスペディア・ホールディングスの2社に分かれているのだが、17年に初めて販売サイトを任せ、各ホテルのサイトには組み込んでいる。アジア圏ではタイのマイナーホテルを設立した。団体パッケージツアー、仕入れ、査証手配を行う「シートリップ・ジャパン(梁頌希社長)」と合わせて3社体制となった。私は在籍している「シートリップグループ・ジャパン」のグループ代表だ。

ダイクス エクスぺディアもブックング・ドットコムと同様に日本国内ユーザーの利用が伸びている。16年対比で1.0倍増、つまり倍以上になっている。利用比率でいうとインバウンド60%、ドメスティック40%程度の水準になっている。ドメスティック比率はまだ上がり続けている。エクスペディア グループにはトリバゴというメタサーチサイト(旅行横断比較サイト)があり、日本市場向けに大量のテレビCMも流している。トリバゴ経由で、弊社やブックング・ドットコム、シートリップなどに国内ユーザーが流れる現象も起きている。日本のエクスペディアは、国内市場向け販売を行うエクスペディア・ジャパンと宿泊入れや全体統括を行うエクスペディア・ホールディングスの2社に分かれているのだが、17年に初めて販売サイトを任せ、各ホテルのサイトには組み込んでいる。アジア圏ではタイのマイナーホテルを設立した。団体パッケージツアー、仕入れ、査証手配を行う「シートリップ・ジャパン(梁頌希社長)」と合わせて3社体制となった。私は在籍している「シートリップグループ・ジャパン」のグループ代表だ。

ダイクス エクスぺディアもブックング・ドットコムと同様に日本国内ユーザーの利用が伸びている。16年対比で1.0倍増、つまり倍以上になっている。利用比率でいうとインバウンド60%、ドメスティック40%程度の水準になっている。ドメスティック比率はまだ上がり続けている。エクスペディア グループにはトリバゴというメタサーチサイト(旅行横断比較サイト)があり、日本市場向けに大量のテレビCMも流している。トリバゴ経由で、弊社やブックング・ドットコム、シートリップなどに国内ユーザーが流れる現象も起きている。日本のエクスペディアは、国内市場向け販売を行うエクスペディア・ジャパンと宿泊入れや全体統括を行うエクスペディア・ホールディングスの2社に分かれているのだが、17年に初めて販売サイトを任せ、各ホテルのサイトには組み込んでいる。アジア圏ではタイのマイナーホテルを設立した。団体パッケージツアー、仕入れ、査証手配を行う「シートリップ・ジャパン(梁頌希社長)」と合わせて3社体制となった。私は在籍している「シートリップグループ・ジャパン」のグループ代表だ。

ダイクス エクスぺディアもブックング・ドットコムと同様に日本国内ユーザーの利用が伸びている。16年対比で1.0倍増、つまり倍以上になっている。利用比率でいうとインバウンド60%、ドメスティック40%程度の水準になっている。ドメスティック比率はまだ上がり続けている。エクスペディア グループにはトリバゴというメタサーチサイト(旅行横断比較サイト)があり、日本市場向けに大量のテレビCMも流している。トリバゴ経由で、弊社やブックング・ドットコム、シートリップなどに国内ユーザーが流れる現象も起きている。日本のエクスペディアは、国内市場向け販売を行うエクスペディア・ジャパンと宿泊入れや全体統括を行うエクスペディア・ホールディングスの2社に分かれているのだが、17年に初めて販売サイトを任せ、各ホテルのサイトには組み込んでいる。アジア圏ではタイのマイナーホテルを設立した。団体パッケージツアー、仕入れ、査証手配を行う「シートリップ・ジャパン(梁頌希社長)」と合わせて3社体制となった。私は在籍している「シートリップグループ・ジャパン」のグループ代表だ。

ダイクス エクスぺディアもブックング・ドットコムと同様に日本国内ユーザーの利用が伸びている。16年対比で1.0倍増、つまり倍以上になっている。利用比率でいうとインバウンド60%、ドメスティック40%程度の水準になっている。ドメスティック比率はまだ上がり続けている。エクスペディア グループにはトリバゴというメタサーチサイト(旅行横断比較サイト)があり、日本市場向けに大量のテレビCMも流している。トリバゴ経由で、弊社やブックング・ドットコム、シートリップなどに国内ユーザーが流れる現象も起きている。日本のエクスペディアは、国内市場向け販売を行うエクスペディア・ジャパンと宿泊入れや全体統括を行うエクスペディア・ホールディングスの2社に分かれているのだが、17年に初めて販売サイトを任せ、各ホテルのサイトには組み込んでいる。アジア圏ではタイのマイナーホテルを設立した。団体パッケージツアー、仕入れ、査証手配を行う「シートリップ・ジャパン(梁頌希社長)」と合わせて3社体制となった。私は在籍している「シートリップグループ・ジャパン」のグループ代表だ。

ダイクス エクスぺディアもブックング・ドットコムと同様に日本国内ユーザーの利用が伸びている。16年対比で1.0倍増、つまり倍以上になっている。利用比率でいうとインバウンド60%、ドメスティック40%程度の水準になっている。ドメスティック比率はまだ上がり続けている。エクスペディア グループにはトリバゴというメタサーチサイト(旅行横断比較サイト)があり、日本市場向けに大量のテレビCMも流している。トリバゴ経由で、弊社やブックング・ドットコム、シートリップなどに国内ユーザーが流れる現象も起きている。日本のエクスペディアは、国内市場向け販売を行うエクスペディア・ジャパンと宿泊入れや全体統括を行うエクスペディア・ホールディングスの2社に分かれているのだが、17年に初めて販売サイトを任せ、各ホテルのサイトには組み込んでいる。アジア圏ではタイのマイナーホテルを設立した。団体パッケージツアー、仕入れ、査証手配を行う「シートリップ・ジャパン(梁頌希社長)」と合わせて3社体制となった。私は在籍している「シートリップグループ・ジャパン」のグループ代表だ。

冒険心の赴くままに Booking.comでサイコーの宿を予約しよう。 #Booking冒険 世界中のゲストが貴施設の掲載を待っています ブッキング・ドットコムにご登録を! Booking.com 吉池旅館(神奈川県箱根町) 2015年8月よりBooking.comに登録